

## 令和2年度事業計画

本協議会の設立趣旨を再確認し、福祉人材養成と大学教育を巡るさまざまな課題に加盟大学が連携・協力して取り組み、福祉系大学に寄せられている社会的要請に応じていくよう、次の行動計画に基づき活動を行う。

### 1. 社会的発信力の向上

- 1) 厳しい学生募集環境や、福祉人材の育成・確保に関する課題、福祉職の地位向上に関する問題等の解決に向けて、会員校が一致して取り組むことができる事業を検討・実施する。【総務・企画委員会】
- 2) 本協議会の趣旨に賛同いただける会員校の拡大に、引き続き取り組む。【総務・企画委員会】
- 3) 福祉を学ぶことの価値・魅力の発信、ソーシャルワーカーの認知度および地位向上の取り組みについて、関係団体・省庁等と連携して進める。【総務・企画委員会】
- 4) 高大接続の観点から、高校生・高校教員に対する「福祉の魅力・価値」の発信を強化する。本協議会ホームページ上で、会員校が行う福祉系のイベント・作成教材等の情報を発信する。【総務・企画委員会】(別紙1)
- 5) Webを用いた諸会議、委員会活動を併用し、会員校のさらなる情報交換の機会拡大、委員会活動の活発化を図る。

### 2. 各委員会の取り組みについて

引き続き下記の委員会を設置し、各課題解決に向けて取り組みを進める。会員校は、希望に基づき、各委員会に所属するものとする。各事業推進にあたっては、会員校間の連携強化につながり、全体で取り組むことの効果を追求し、進めていく。

#### ◎令和2年度設置委員会

- ①総務・企画委員会
- ②研究活動・教育向上委員会
- ③就職委員会
- ④学生募集戦略検討委員会
- ⑤大規模災害対応委員会

#### 1) 総務・企画委員会

- ・各委員会と連携し、取り組みの発信を強化していく。
- ・引き続き、学生募集戦略検討委員会と共催で、厳しい学生募集状況の改善に繋がる事業を推進する。
- ・研究活動・教育向上委員会と共催で、コロナ禍における教育・研究・実習の課題に取り組む。  
また、社会変化および高校生のニーズに応え、福祉系学部・学科の魅力向上に繋がるカリキュラ

ムのあり方について研究・検討をすすめ、関係団体との懇談にも取り組む。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度第1回総会および勉強会（6月）は集合型で開催できなかった。勉強会については、after コロナ時代も見据えた「with コロナ時代の福祉系大学のあり方」を探ることをテーマに、別途企画する（8月末～9月頃）。
- ・高大接続の取り組みとして、会員校が高校生・高校教員向けに実施している福祉系のイベント・作成教材等の情報を集約し、本協議会ホームページで発信する。

## 2) 研究活動・教育向上委員会

- ・コロナ禍における教育・研究・実習への対応について、会員校にアンケートを実施する。アンケート結果を踏まえ、Webによる勉強会を実施する（7月上旬頃）。
- ・社会福祉国家試験の問題等内容に関わって会員校へのアンケートを実施する。問題の精度向上に資するため、必要に応じて意見提出等を行う。

## 3) 就職委員会

- ・昨今の新型コロナウイルス感染症による各大学の就職支援状況や求人、採用試験の動向等についてZoomを利用したWEBによる意見交換会を実施する（9月頃）。
- ・昨年度に引き続き、就職担当者向けの情報交換会を開催し、就職支援に向けた情報共有、意見交換を行い、就職支援諸施策の充実を図る（11月～12月頃）。

情報交換会は、昨年度の就職委員会アンケートの結果や昨今の社会情勢を踏まえて、福祉系大学に共通する課題をテーマとし実施する。

※就職担当者向け情報交換会の開催については、新型コロナウイルス感染症の状況により、WEBによる開催もしくは中止する場合がある。

## 4) 学生募集戦略検討委員会

- ・平成30年度より継続中の、協議会特設サイトをハブとした学生募集戦略に引き続き取り組む。
- ・サイト内『全国で活躍するセンパイの想い』の充実に加え、前年度勉強会で上げられた在学生情報の発信についても推進する（別紙2）。
- ・SNS連動広告を活用したWeb施策を引き続き実施し、得られた知見を勉強会でフィードバックする（別紙2）。
- ・会員校のWebオープンキャンパス等の情報を集約し協議会ホームページで発信する（別紙3）。
- ・勉強会については年間4回を予定（4、6、8、10月頃）（別紙4）。今年度よりZoom等オンラインを活用しながらも、適宜対面にて相互の交流を図る。内容としては、コロナ禍における学生募集・入試についての情報交換、事業効果の検証、次年度の実施計画検討等を行う。

## 5) 大規模災害対応委員会

- ・被災経験・避難所開設経験のある会員校を対象とする災害対応に関する調査の実施  
大規模災害時における会員校同士の相互連携・協力の在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的として本調査を実施する。本調査は、社会福祉士養成の観点から、被災後の大学の対応（学生の安否確認、実習先の調整、補講対応等々）について調査する。
- ・日本看護系大学協議会 災害支援対策委員会の取り組みに関する聞き取り調査（秋以降を予定）